



仙北市民会館前を分列行進する様子。

決意をあらたに

仙北市消防出初式



1月6日、仙北市消防出初式が仙北市民会館で開催され、団員や関係者などおよそ210人が参加しました。

式典に先立ち、市民会館前の駐車場で観閲式が行われたほか、団員160人が力強く分列行進しました。

式典で田口知明市長は「昨年

は、元日に能登半島地震が発生し、400人以上の尊い命が奪われ、全壊家屋が8千棟以上にのぼる甚大な被害となった。9月には豪雨災害に見舞われ、現在も避難生活を余儀なくされている方々が多数おり、復旧復興もまだ道半ば。被災されたすべての方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念する。また、昨年7月には秋田県や山形県で大雨被害が発生し、仙北市では人的被害や建物被害は発生していないものの、林道の一部崩落や田の畦畔の損壊など農林水産関係で被害があった。消防団の皆さまには危険がひそむなかパトロール、被害拡大防止の活動などに尽力いただき、心より感謝申し上げます。日頃より消防

あらゆる災害から市民の生命と財産を守るため、危険を顧みず職務を遂行していただいていることに、深く敬意を表する。毎年のように発生する地震や台風、線状降水帯による大雨被害、夏場の高温などの異常気象は、もはや特別でまねなものではなく、常に自然災害の発生に備えなければならぬ。地域密着で活動している消防団の存在が、今後ますます重要になる。仙北市消防団員として、その結束をさらに強くしていただき、市民と市民生活を守る消防精神を堅持し、一層「尽力くださるようお願い申し上げます」と式辞を述べました。

下田忠浩仙北市消防団長は「自分たちの街は、自分たちで守るという決意のもと、自らの生業繁栄のなか消防業務に精進されているご苦労に感謝申し上げます。いつ何時発生するかわからない火災に対し、地域の安全を確保し市民の生命財産を守るため、なお一層の消防力の強化に励む所存である」と訓示を述べました。

式典ではこのほか、永年勤続者の表彰や消防功労者への感謝状贈呈、令和6年中に入団した新入団員が紹介されました。



下田忠浩消防団長の訓示。



式典では各章の表彰が行われました。



新入団員の紹介も行われました。

表彰受章者（敬称略／所属）

〈秋田県知事表彰〉 【有功章】

- ▼藤枝誠（第10分団）▼佐藤泰人（第4分団）▼門脇篤美（第6分団）▼小野昭巳（第7分団）▼鈴木浩一（第9分団）▼仙波寛（第10分団）

【永年勤続功労章（40年以上勤続）】

- ▼小西芳雄（第2分団）▼佐藤大（第7分団）▼辻広勝（第9分団）

【永年勤続章（35年以上勤続）】

- ▼鈴木泰昌（第9分団）

【永年勤続章（30年以上勤続）】

- ▼高橋秀作（第8分団）▼浅利寿（第6分団）▼高橋英樹（第4分団）▼武藤建政（第6分団）▼草薨民夫（第7分団）▼高橋靖（第4分団）

【永年勤続章（25年以上勤続）】

- ▼大石望（第4分団）▼水平幹人（第10分団）▼大山博信（第4分団）▼糸井直紹（第10分団）▼藤村隆幸（第4分団）▼佐藤正輝（第5分団）▼藤川信喜（第10分団）▼戸澤敏之（第10分団）▼千葉茂樹（第2分団）▼真崎成行（第4分団）▼芳賀大樹（第5分団）

【永年勤続章（20年以上勤続）】

- ▼阿部一公（第6分団）▼福井弘（第7分団）▼黒澤広志（第10分団）▼千葉光一（第2分団）▼坂本博美（第3分団）▼小林有博（第5分団）▼佐藤明広（第5分団）

〈仙北市長表彰〉

【永年勤続特別功労章（41年以上勤務）】

- ▼平岡悟（第4分団）▼齋藤和美（第5分団）

【功労章（26年以上勤務で階級が班長以上）】

- ▼齋藤隆志（第5分団）▼浦山力（第1分団）▼大山博信（第4分団）▼阿部幸喜（第5分団）▼佐々木道敏（第5分団）▼佐藤一也（第8分団）▼工藤勝博（第2分団）▼門脇尚徳（第5分団）▼林崎和幸（第9分団）

【功績章（15年以上勤務）】

- ▼松橋佑（第1分団）▼西宮三春（団本部）▼大石友子（団本部）▼倉橋薫（第3分団）▼林崎智美（第9分団）▼本田翔平（第10分団）▼齋藤美香（団本部）▼橋本由佳乃（団本部）▼御崎春彦（第3分団）▼地主貴尋（第3分団）▼齊藤弥稔（第4分団）▼西宮賢（第5分団）▼齋藤宗徳（第5分団）

【無火災分団】（2年間無火災）

- ▼第2分団

【優良分団】

- ▼第10分団（大仙仙北美郷支部消防訓練大会 規律訓練の部第2位）▼第4分団（大仙仙北美郷支部消防訓練大会 小型ポンプ操法の部第3位）

【感謝状】

- ▼前団長 佐藤乃三 ▼前分団長 安達政治 ▼前分団長 伊藤一美 ▼前分団長 藤村治彦 ▼前分団長 石郷岡秀雄 ▼前副分団長 戸村正光 ▼前副分団長 青柳和美 ▼前副分団長 渡辺雅宏

〈秋田県消防協会長表彰〉

【勤続章（10年以上勤続）】

- ▼浅利健男（第1分団）▼浅利孝宏（第1分団）▼田口拓弥（第3分団）▼荒澤勇希（第4分団）▼菅原龍哉（第9分団）▼阿部千晶（団本部）▼大澤和樹（第10分団）▼伊藤広幸（第1分団）▼堀川凌（第1分団）▼中島亮太（第1分団）▼松尾勇一（第2分団）▼新山良和（第4分団）▼吉村陽介（第4分団）▼清水翼（第4分団）▼奥淳治郎（第4分団）▼武藤慈（第6分団）▼山田裕輔（第6分団）▼佐藤麻美（第7分団）▼鈴木邦

〈秋田県消防協会 大仙仙北美郷支部長表彰〉

【精勤章（7年以上勤続）】

- ▼熊谷千秋（第1分団）▼伊藤邦仁（第1分団）▼千葉康幸（第2分団）▼樋口龍美（第2分団）▼鈴木匠（第2分団）▼高橋良宣（第3分団）▼山崎靖（第3分団）▼高橋利幸（第3分団）▼樋口将志（第3分団）▼工藤周（第4分団）▼松本成年（第7分団）▼岩城幸二（第7分団）▼佐藤孝太（第7分団）▼佐々木桂一郎（第8分団）▼木元康幸（第8分団）▼藤原直美（第9分団）▼藤井大夢（第9分団）▼辻曉汰（第9分団）▼高橋与志美（第10分団）

【優良分団】

- ▼尚（第9分団）▼辻吉広（第9分団）▼田口晃（第10分団）▼戸澤和美（第10分団）▼戸澤政一（第10分団）

〈仙北市消防団長表彰〉

【精勤章（3年以上勤続）】

- ▼伊藤和枝（団本部）▼守屋悦子（第3分団）▼佐々木剛（第4分団）▼門脇春樹（第6分団）

【優良団員】

- ▼藤枝誠（第10分団）（大仙仙北美郷支部消防訓練大会 規律訓練の部 指揮者）▼佐々木剛（第4分団）（大仙仙北美郷支部消防訓練大会 小型ポンプ操法の部 2番員）

★ 栄光・表彰 ～輝くとき

第28回全東北空手道選手権大会

武心会 角館本部道場所属の
高橋 凜さんが優勝



11月24日、宮城県栗原市で開催された第28回全東北空手道選手権大会 中学2年女子45kg以上の部で高橋凜さん（西明寺中学校2年）が優勝に輝き、1月26日に大阪府大阪市で行われる第7回W・K・Oジャパンアスリートカップに出場が決まりました。

第52回マーチングバンド全国大会

角館小学校金管バンド部
ドリームハーモニーが銀賞受賞



12月14日と15日、埼玉県さいたま市で「第52回マーチングバンド全国大会」が開催され、角館小学校金管バンド部ドリームハーモニーが小学生の部で銀賞を受賞しました。

12月19日に市役所西木庁舎を訪れた部員の代表3人から、須田教育長へ受賞を報告しました。

非行防止・健全育成標語入賞作品

仙北地区少年保護育成委員会では、非行防止・健全育成を目的に標語を募集したところ397点の作品が集まり、各部門の入賞作品は次のとおり決定しました。※敬称略

小学校の部 【優秀賞】

▶「だいじょうぶ？」勇気を出して 声かけよう（澤山莉心・西明寺小学校6年）

【優良賞】

▶一言で 深いきずながくずれだす（三浦結人・生保内小学校6年）▶やみバイト 入って始まる あくの世界（佐藤叶望・桧木内小学校4年）▶いい話 悪への道かも 気をつけて（齋藤和志・桧木内小学校6年）▶こんにちは 気持ちいいあいさつ 笑顔咲く（稲田ゆい・生保内小学校5年）▶守ろうよ ルールはみんなの 幸せのため（藤原伸己・角館小学校4年）▶考えて 言葉や表情 その意味を（田中萌依・西明寺小学校6年）

中学校の部 【優秀賞】

▶書きこんだ その一言を見直そう（大澤あかり・角館中学校3年）

▶気をつけて 二度と消えない その送信（高橋蒼哉・生保内中学校1年）

【優良賞】

▶そのクリックが 未来の自分 左右する（浅利幸希・西明寺中学校1年）▶手を止めて 後悔残る その前に（佐藤心温・西明寺中学校3年）▶魔の手口 自分の身近に ひそんでる（佐藤伊咲季・神代中学校2年）▶動画より 毎日見たいの 家族の笑顔（八柳璃空・神代中学校1年）

令和6年秋の褒章

<秋の叙勲>
緑綬褒章

社会奉仕活動功績



荒町集落会

昭和52年からJR田沢湖線・神代駅の清掃を年4回実施。駅舎の清掃以外にも、田沢湖マラソンのボランティアや地域の見守り活動などに尽力されています。この活動と功績が認められ、この度の受章となりました。

令和6年秋の褒章が発表され、荒町集落会が受章されました。心からお祝い申し上げます。

国際ソロプチミスト大曲から
児童図書を送りました

12月23日、国際ソロプチミスト大曲から、市内の児童クラブへ児童図書33冊（5万円相当）を送りました。

当日、市役所角館庁舎に杉田郁子会長を含む4人が訪問され、納品された図書の確認や図書にラベルを貼る作業をしていただきました。

同団体からは、平成30年6月から児童図書を寄贈いただいております。今回で5度目となります。寄贈いただいた児童図書は、子どもたちが熱心に読んでいます。



善意のめぐりがけがな



12月23日、外国人留学生・大卒外国人向け合同企業マッチング会が市役所角館庁舎で開催され、市内企業などの6社が出展しました。
同会には、県内大学の留学生や高度外国人材等受入モニター調査で市内視察に訪れている県外の留学生が参加しました。
出展した各企業からのプレゼンテーションが行われた後、各企業のブースに分かれて、個別相談会を行いました。出展した市内企業からは「個別ブースで外国人留学生の皆さんとお話する機会が持て、大変貴重な経験になった」などの感想が述べられました。

外国人留学生・大卒外国人向け 合同企業マッチング会

外国人留学生・大卒外国人向け



ツアー振り返り後に記念撮影。

仙北市では、国家戦略特区の優位性を活かして、外国人エンジニアや国内大学の留学生などの高度外国人材などを支援し、活躍と成長の機会を提供することで、地域経済の活性化を目指しています。
12月21日から23日まで、高度外国人材等受入モニター調査の市内視察を実施し、学生の約9割が留学生である新潟県南魚沼市にある国際大学の留学生4人が参加しました。2泊3日の視察では、わらび座でシアターエデュケーションを体験し、農家民宿に宿泊して地元農家との交流に加え、角館の武家屋敷や田沢湖フニマス未来館などを見学しました。

高度外国人材等受入モニター 調査市内視察

地域経済活性化と雇用創出へ

最終日には、合同企業マッチング会に参加し、市内企業と個別相談をしました。その後のツアー振り返りでは、参加者から「一年前の合同企業マッチング会が大変参考になり、仙北市での就職を検討したい」などの声が寄せられました。

台湾の生徒に台北市を案内してもらおうなどと友好関係を深めました。
コロナ禍ではオンライン交流をしてきましたが、コロナが明けてから初めての現地交流を実現することができ、参加した伊藤媛音さんは「最初は中国語が通じることが不安でしたが、ホームステイ先やクラスの生徒とたくさん会話でき、授業も楽しかった。ほぼ生徒だけで行動し、とてもよい経験ができた」と話しました。



師範大学附属高級中学校の校門に「角館高校歓迎」の文字が飾られました。

12月5日から8日まで、角館高校生7人が台湾台北市を訪問し、師範大学附属高級中学（平成27年姉妹校締結）の生徒と学校交流を行いました。
5日は台湾の生徒宅にホームステイし、6日は授業と一緒に受けたほか学校イベントに参加。7日には

師範大学附属高級中学と 角館高等学校が学校交流

角館高等学校が台湾高校生と国際交流

さががけ2024 第53回秋田県ミニバスケットボール大会

J-Lio Monolies (ジェライオモノリス) が準優勝



神代・角館・西明寺の3小学校の女子選手で構成しているJ-Lio Monolies (ジェライオモノリス) が、12月14・15・21・22日の4日にわたって開催された「さががけ2024 第53回秋田県ミニバスケットボール大会」で、準優勝の成績を収めました。

1月14日、市役所西木庁舎を訪れた選手から、須田教育長へ大会の結果と、2月22日と23日に青森県弘前市で開催される「第44回東北ミニバスケットボール交歓大会」への出場が決まったことが報告されました。

大沢紀仁さんが審査員特別賞受賞

第22回あきたふるさと手作りCM大賞

秋田朝日放送(AAB)が主催する「第22回あきたふるさと手作りCM大賞」で、仙北市の作品「夢中になれる遊び場、仙北市！」が審査員特別賞を受賞しました。
この取り組みは、地元の魅力を県内外へ発信することを目的に開催されているもので、仙北市では公募したなかから大沢紀仁さん(田沢湖生保内)に撮影や編集を依頼して参加しました。

1月10日には、市役所田沢湖庁舎で伝達式が行われ、秋田朝日放送株式会社の荻原力取締役から、制作した大沢さんにトロフィーと、田口市長へ副賞の目録が手渡されました。

今回受賞したCMは副賞として、本年12月末まで50本のCMがAABにおいて放送されるほか、AABホームページ、YouTubeのAAB公式チャンネルで公開されていますので、ぜひご覧ください。



左から田口市長、大沢さん、秋田朝日放送株式会社の荻原取締役。



大沢さんが制作したCM「夢中になれる遊び場、仙北市！」はこちらをご覧ください。

新年を祝う書

令和7年 仙北市新年書きぞめ展

1月9日から16日まで、中央公民館を会場に「令和7年仙北市新年書きぞめ展」が開催されました。

今年は市内小・中学校の児童・生徒から42点の応募があり、「はるの光」「花さく里」など学年別の課題を伸びやかに書き上げた作品を展示し、多くの来場者に鑑賞されました。



当日のプレゼンテーション資料は仙北市ホームページに掲載しています。



現時点で、5人の隊員全員が任期を終えた後も仙北市に残る意向で、地域に貢献できる活動を続けていきたいという熱い展望が語られました。



12月18日、仙北市地域おこし協力隊活動報告会が市役所角館庁舎で開催され、会場とオンラインあわせて46人が参加しました。この取り組みは、各隊員それぞれの目標に向けてどのような活動に取り組んでいるのか、多くの方に知ってもらうことを目的に行われました。

仙北市地域おこし協力隊 活動報告会を開催しました

地域おこしの活動について

表紙の写真から

角館の火振りかまくら 炭俵製作の伝承へ

毎年2月14日に行われる小正月行事「角館の火振りかまくら」で使われる炭俵を編む職人が減少しています。

火振りかまくらでは炭俵を約1500個使用しますが、現在、仙北市内で炭俵を作っている方は2人。そのうちの1人、鈴木廣さん（田沢湖生保内）は年間で600個から700個ほどの炭俵を作っています。

今後の炭俵製作者を増やし、技術の継承や継続的な生産性を目指して、1月21日に角館交流センターで鈴木さんの実演、手順の説明のほか、参加者の体験が行われました。



寒さの中で心身を鍛える

実戦空手道

武心会の寒稽古

1月12日、実戦空手道武心会（湯澤浩一師範）の寒稽古が行われ、県内各道場の門下生が参加しました。

当日は、角館武道館からランニングで神明社へ移動。社殿前での奉納稽古では「せいっ」と気迫のこもった突きや受けなどの基本練習に取り組み、武道への気持ちを新たにしました。その後のお祓いでは、今年1年の安全と試合での健闘を祈願しました。



半世紀以上の歴史に幕

最後の田沢地区

歳末たすけあい演芸会

12月15日、田沢地区で恒例行事として親しまれている田沢地区歳末たすけあい演芸会が、田沢交流センター体育館で開催されました。

これは、地域住民による実行委員会を組織し、半世紀以上にわたって続く演芸会です。感染症の影響などから、5年ぶりの開催となりましたが、田沢地区の少子高齢化、



住民の減少により、実行委員や出演者の確保が難しく、今後の継承が難しいものと判断し、この演芸会が最後の開催となりました。

高橋孝行実行委員長は、「これまで続けることができたのも、先輩方や地域の皆様のおかげです。これまでのご理解とご協力に感謝します」とあいさつし、これまでの長い歴史に幕がおろされました。

この取り組みの趣旨は、地域住民の交流の場のほかに、収益や皆さんからの募金などで集まったお金を寄付する活動です。これまで、東日本大震災時の被災地などに義援金として寄付したり、社会福祉協議会やNPOたざわ村などに寄付する活動を行ってきました。この最後の開催で集められた募金やこれまでの繰越金などから、令和6年元日に発生した能登半島地震の被災地へ義援金として贈ることにしています。

資源回収活動の収益金

生保内中学校生徒会から

車いす贈呈

12月23日、生保内中学校から、介護老人保健施設「田沢の郷」へ車いすが贈呈されました。

これは、同中学校のJRC委員会が呼びかけ、全校生徒や地域の皆さんの協力により実施したアルミ缶などの資源回収活動の収益金を地域のために役立ててもらおうとするもので、10月に引き続き今年度2回目となる車いすの贈呈となりました。



田沢の郷で行われた贈呈式には、全校生徒を代表してJRC委員の三浦瑠華さんと高田芽衣さんが出席し、「5月から資源回収を始め10月に車いす1台目、12月に2台目を達成することができた。これは、全校生徒はもちろんのこと、地域の皆さんのご協力のおかげです。これからも地域に恩返しができるよう取り組みます」と話し、同施設の高橋施設長と太田事務長へ車いすが贈呈されました。受け取った高橋施設長は、「施設のために使わせていただく。これからもこのような取り組みを頑張ってください」と話しました。

将来を担う子どもたちへ

一般財団法人角館感恩講が

市内の子どもへ向けて支援

一般財団法人角館感恩講では、令和6年度から新規事業として仙北市の将来を担う子どもたちへの支援事業を実施しています。

昨年の11月に、角館子ども園へままごとキッチンセット1歳児・2歳児用各2セットを寄贈しました。



角館子ども園へ寄贈されたままごとキッチンセット。

また、子ども食堂（食彩舞桜）へランドセルなどの物置棚としてシステムラック4段のほか、従来設置されていた手洗い器より大きいサイズの手洗い器を寄贈しました。

同法人では、今後も子どもたちの健全な育成・孤食への対応や居場所づくりなどの支援を行う予定です。



子ども食堂に設置された手洗い器。